

8人制一人審判の手引き

- 1・試合開始前の準備
 - ・大会要項の確認
 - ・競技場、用具類の確認

- 2・一人審判は「主審・補助審」で構成
- 3・補助審判の任務
- 4・審判員が準備する用具類

試合開始前の準備(8人制):一人審判

1.大会要項の確認

- ・競技時間、インターバル
- ・同点(引き分け)の際の処置
- ・ユニフォームの確認

2.競技場・用具の確認

- ・ゴール、ゴールネット
- ・ライン、各エリア、マーク
- ・コーナー、フラッグ
- ・交代ゾーン
- ・ベンチ、テクニカルエリア
- ・ボール空気圧

3.主審と補助審との打ち合せ事項

- ①時計時刻合わせ
- ②得点の合図(きわどいゴールインの合図)
- ③選手交代の手続き
- ④負傷、事故発生時の対応と担架確認
- ⑤ベンチの指導者・控え選手管理
- ⑥試合記録(補助審と確認後)本部報告

上記以外に気になる事項は相互に確認

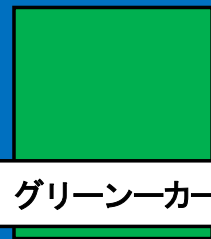
(8人制): 一人審判: 主審1名、補助審1名(必須)

補助審判の主な任務

- ・主審が職務を続行出来ない場合に主審を務める(用具の携帯)
 - ・ボールの交換を管理する
 - ・必要に応じてベンチを管理する
 - ・記録を取る(正しく試合の報告をするために)
- ◆次の場合に主審を援助する
- ・警告、退場を与える競技者を間違えてるとき
 - ・2枚目の警告にも関わらず退場を与えられてないとき
 - ・主審の見てないところで乱暴な行為が行われていたとき
 - ・明らかに競技規則の適用違いが現認できた場合、再開前に知らせる

審判員が準備する用具類

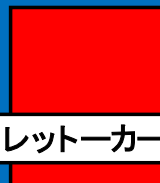
- 時計 2 個
- ホイッスル 2 個
- 記録用紙
- コイン (ボール&エンドを決める)
- 審判胸ワッペン
- リスペクトワッペン右袖
- 空気入れ・圧計



グリーンカード



イエローカード



レッドカード

